

TOP MESSAGE

おいしく、
たのしく、
すこやかに



日本子どもたちに栄養価の高い
おいしいお菓子を届けたい

森永製菓は1899(明治32)年、創業者・森永太郎が「日本子どもたちに栄養価の高いおいしいお菓子を届けたい」という夢を抱いて創業し、西洋菓子づくりのパイオニアとして今日まで110年余を歩んできました。時代ごとに新たなおいしさを生み出し、すこやかな食生活の実現に貢献してまいりました。

現在、当社は菓子食品・冷蔵・健康食品と幅広い分野のブランドと商品を有し、その総合力を強みとして、さまざまな切り口での価値と感動をお客様にお届けしています。また、高い品質価値をさらに広く浸透するべく、海外事業や従来の枠を超えた新市場・新領域開拓にも積極的に取り組んでおり、新たな価値を創出しています。

日本国内の市場は少子高齢化や人口の減少、節約志向、シェアリングエコノミー等消費が縮小する厳しい環境変化を迎えています。その中で当社は、企業の長期的かつ持続的成長の実現のため、「2018中期経営計画」のテーマを「経営基盤の盤石化と成長戦略の加速」とし、「既存領域の強化」「ウェルネス領域の拡大」「グローバル領域の拡大」の3つの切り口に重点を置いた取り組みを行ってまいります。

さらに、森永製菓グループは2018年、森永製菓グループに対する社会からの要請や期待を経営に取り込むとともに、グループ全体でCSRを着実に推進していくため、従来のCSR基本方針・CSR体系を見直し、持続可能な社会の実現に向けた新たな方針・体系を策定しました。

具体的には、「おいしく、たのしく、すこやかに」というビジョンのもと、食を通じ、社会課題の解決と持続可能な



価値と感動を
世界へ

社会の実現に向けて取り組む姿勢、そしてそのために重点的に取り組むべき項目を、①「食」を通じた価値の提供、②次世代育成、③地球環境・社会への配慮の3つにまとめ、明文化しました。今後はこの3つの柱を中心にCSR活動を行い、SDGsへの貢献を進めてまいります。

私たちは、これからもビジョン・ミッションのもと、「食」に関わるさまざまな商品やサービスの提供をとおり、持続可能な社会の実現に貢献していきます。同時にステークホルダーのみならず、積極的なコミュニケーションを図り、お互いに尊重し合い、継続的な成長を目指していきます。

今後とも、よりいっそうのご支援・ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **新井 徹**